

東京都交通局

# 経営計画 2019 (概要版)



## 概要

#### 経営の基本的な考え方

- ▶「安全・安心の確保」「質の高いサービスの提供」「東京の発展への貢献」「経営基盤の強化」の 4つの方針で事業を展開
- ▶ 東京2020大会開催時には、安全で安定的な輸送と快適で利用しやすいサービスを提供

都民やお客様に信頼され支持される都営交通の実現、そして東京の 更なる飛躍に向けて、局一丸となって取り組む

#### 事業体系

#### 安全・安心の確保

- 安全対策の強化
- 災害対策等の強化
- 安定的な輸送を支える基盤整備
- 安定的な電力供給を支える基盤整備

### 質の高いサービスの提供

- 輸送需要への的確な対応
- 便利で快適な移動空間の創出
- 新たなバスモデルの展開
- 公共交通ネットワークの利便性向上
- 旅行者にも利用しやすい環境の整備
- サービス品質の持続的向上

#### 東京の発展への貢献

- まちづくりとの連携
- 観光振興及び文化振興への貢献
- 持続可能な社会の実現への貢献
- 沿線地域の発展への貢献
- 福祉施策への貢献
- 都政情報等の発信への協力

#### 経営基盤の強化

- 関連事業の推進
- 安定的な人材の確保と育成
- 全ての職員が活躍できる職場環境づくり
- 安定的な事業運営を支える執行体制の構築

## 計画期間

▶ 2019年度から2021年度の3か年

## 財政収支計画

(単位:億円)

				(単12・1息円)
年度	経常損益			その後の収支見通し
事業	2019	2020	2021	ての後の収入兄旭し
高速電車事業 (都営地下鉄)	246	270	270	堅調に黒字を計上
自動車運送事業 (都営バス)	△ 13	△ 27	△ 11	2024年度以降黒字化
軌道事業(東京さくらトラム(都電荒川線))	△ 7	△ 5	△ 5	赤字基調で推移
新交通事業 (日暮里・舎人ライナー)	△ 12	△ 4	△ 2	赤字基調で推移
電気事業 (発電)	4	5	1	堅調に黒字を計上

## 安全・安心の確保

#### ホームドアの整備

▶ホーム事故「O」を目指して、都営地下鉄全線にホームドアを整備

2019年秋

000

新宿線完了



浅草線先行4駅\* 完了

東京2020大会時



\*新橋、大門、三田、泉岳寺

#### 2023年度

全ての交通局 管理駅で完了





新宿線ホームドア

#### 地下鉄の浸水対策の強化

- ▶ 新たな浸水想定を踏まえ必要な 追加対策を検討・実施
- ▶ 荒川氾濫等に備えたタイムライン の運用・改善、早期復旧に向けた 対応の検討



止水扉

#### テロ対策の強化

- 都営地下鉄駅構内、車内 に防犯カメラを順次設置
- 映像解析により不審物 の置き去り等を検知する 新技術を導入



地下鉄車内防犯カメラ

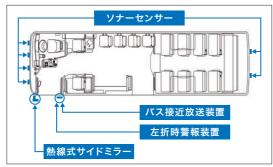
#### 駅構内

東京2020大会時 重点整備箇所設置完了 車内

順次導入

## 都営バスにおける安全対策の強化

- ▶ 運転訓練車の活用などによる運転特性を踏まえた指導の実施
- ▶ 着座確認等の徹底による車内転倒の防止
- ▶ 左折時警報装置やソナーセンサー導入など 車両の装備改善



バス車両の主な安全装置

## 発電所施設の大規模更新計画の策定

▶ 運転開始から50年以上が経過する多摩川 第三発電所の更新計画を策定するととも に、今後の経営の方向性について検討



多摩川第三発電所

## 質の高いサービスの提供

#### 混雑対策

#### ▶地下鉄

●三田線 2022年度~ **8両編成化** 

●新宿線 2022年度 **10両編成化完了** 



新宿線車両

## 日暮里・舎人ライナー

2019年度 2編成増備

2022年度~ ロングシートの車両に順次更新





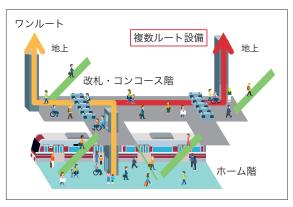
日暮里・舎人ライナー車両

#### バリアフリールートの充実

▶ 競技会場最寄駅や乗換駅等でのエレ ベーター整備

#### 2019~2021年度 9駅完了

▶ バリアフリールートの複数化の検討



バリアフリールートの複数化(イメージ)

## トイレのバリアフリー化

トイレの洋式化

2020年度

約9割完了

2021年度

整備完了\*

\*大規模改良 予定駅を除く

▶温水洗浄便座の設置

#### 2019~2021年度 64か所完了

▶出入口の段差解消、べ ビーチェアやベビーシート の設置など、トイレを改修

> 2019~2021年度 19か所完了



改修後のトイレ(一之江駅)

## 人にやさしい地下鉄車両の導入

- ▶ ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた車両へ更新
  - 全車両に車いすやベビーカー等に配 慮したスペースを設置
  - 低い吊り手や荷棚の採用、優先席へ の縦手すりの追加 など



フリースペース



優先席の縦手すり、低い吊り手・荷棚

#### 新たなバスモデルの展開

- ▶ 都営バスが新たなバスモデルを構築し、全国へ発信
  - フルフラットバスの検証・改良を進め、導入を拡大
  - 駅からバス車内まで連続した情報案内を多言語で提供



フルフラットバス



ノンステップバス車内



フルフラットバス車内

#### 駅からバス車内まで連続した情報案内

①地下鉄改札口(デジタルサイネージ)



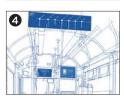
②駅前広場 (デジ<mark>タル</mark>サイネージ)



③バス停留所(案内表示のデザイン 改修・接近表示)



④バス車内 (デジタル路線図)バス車外 (フルカラー行先表示器)



## おもてなしの心によるサービスの提供

- ▶ 英語が話せるコンシェルジュ(駅案内係)の配置を拡大
- ▶ 駅周辺施設や乗車券購入方法等の案内を行うツーリストインフォメーションセンターを増設

コンシェルジュ

2020年度 30駅配置



●ツーリストインフォメーションセンター

2019年度 **2か**所開設



### バス営業所の新設

▶ 臨海地域の需要増加に対応するため、有明地区に営業所を新設(2019年度)



## 都営交通公式アプリの導入

▶ 2019年度サービス開始

(主な機能)

- 列車走行位置情報の提供
- 運行情報のプッシュ通知
- 乗換案内 など

有明地区新営業所(イメージ)

## 東京の発展への貢献

#### 浅草線のリニューアル・プロジェクト

- ▶ "Tokyoと世界を結ぶ地下鉄"をトータルコンセプトとし、路線をリニューアル
  - 各駅の街並みにあわせた駅改装を計画的に実施
  - 2021年度までに全編成を新型車両に更新





#### 泉岳寺駅の大規模改良

- ▶ 市街地再開発事業と一体で駅の改良工事を実施
  - ホーム拡幅、コンコース拡張、 エレベーター増設 など

2024年度(予定) 拡幅ホーム供用開始



#### 燃料電池バスの導入

水素ステーションの整備状況にあわせて導入





## 沿線地域との連携

▶ 沿線地域と連携して、イベント等を積極

的に展開



都電さくら号

## 経営基盤の強化

#### 関連事業の推進

#### ▶ 構内営業

- より利便性・収益性の高い店舗等を展開
- 駅の大規模改良工事等にあわせ新たな店舗を設置





神保町店舗(イメージ)

● 車両更新や駅の大規模改修等にあわせ、広告用デジタルサイネージの設置を拡大

## 人材の確保・育成

#### ▶地下鉄

訓練用設備の整備など研修所の機能 を強化

#### バス

- 養成型選考での採用を拡大
- 新規採用者向けの養成研修の充実

## 東京2020大会の成功に向けた取組

#### 都営地下鉄の取組

- ▶ 駅・車両のバリアフリー化や多言語による案内を充実
- ▶ 大会時には、列車の増発や終電の延長を実施

#### 1 ホームドアの整備

- ●ホーム事故「0」を目指して、ホームドア整備を推進
- ●新宿線ではホームのかさ上げも実施

#### 2 フリースペースの設置

- ●更新にあわせ、各車両に 車いすスペースやフリース ペースを設置
- 3 防犯カメラの整備
- ●車内や駅構内への防 犯カメラ整備を推進





#### 4 エレベーター整備

- ●競技会場最寄駅や乗 換駅等でのエレベー ター整備を推進
- **(5)**トイレのバリアフリー化・
  - ●トイレの洋式化を推進
- ●ベビーチェア、ベビーシートの設置など、誰もが利用しやすいトイレに改修

#### 6 異常時の情報案内

●災害や輸送障害等の発 生時においても、必要な 情報を多言語で案内

#### 7 コンシェルジュ

●競技会場最寄駅等に英語が話せるコンシェル ジュを配置

#### 都営バスの取組

- ▶ 駅からバス車内まで連続した情報案内を、途切れることなく多言語で提供
- ▶ 大会時には、駅から離れた会場へのシャトルバス 運行等に協力
- ▶ 大会中の交通規制や需要の増加等に的確に対応



#### 大会の気運醸成

- ▶ 都営交通の様々な広告媒体を活用し、 大会気運の醸成に向けた取組を推進
- ▶ 開催直前には、都営地下鉄駅構内などを 大会の統一的なデザインで装飾



